

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	それいゆ療育センター佐賀			
○保護者評価実施期間	2024年11月1日 ～ 2024年11月29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年1月20日 ～ 2025年1月24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の特性やニーズに合わせた支援を提供している	・利用者の特性や理解、興味関心などのアセスメントを行う。視覚支援を活用して本人が見通しを持って自立的に活動できるように取り組んでいる。	今後も利用者の特性を踏まえ必要な支援を提供できるよう保護者と話し合いながら支援を進めていく。
2	保護者同士の交流の機会がある	・年に3回程度保護者会を開催している。保護者会では事業所として子育ての困りごとなどの相談に答える。保護者同士がこどもへの対応や他の放デイや学校の情報等を共有している。	今後も保護者会を開催する。保護者からの相談に応じたり保護者同士の交流を通じて家族が安心して生活できるよう取り組む。
3	職員の知識・技術向上のための取り組みがある	・職員の知識や技術の向上、心身ともに健康で適切な支援を提供するため年間を通して研修が組まれている ・事業所に講師を招いて研修会を実施している。 ・職員の自己研鑽のための図書が整備されている。	今後も継続して職員研修や外部での研修の機会を作る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方との交流が少ない。	・利用者の特性を踏まえ、他者との交流のための学習を優先していることと今は少人数での実践を行っているため、地域での実践には至っていない。 ・個人情報の観点により地域の方との交流を行っていない。	・今後もご利用様が地域で安心して暮らしていくために段階的に学習や支援を行っていく。地域で実践できる利用者には機会を提供できるようにする。 ・地域での他の方との交流についての情報収集に努める。
2	保護者への説明（活動概要や行事予定その他連絡等）が不十分である。	・個人情報の観点によりホームページ等での活動報告は行っていない（ご利用時に活動の様子や支援内容について伝えている） ・日程表を配布したり、クラスの活動予定表を掲示したりしているが学習や行事等活動の内容がわかりにくい。	・今後も継続してご利用時に活動の様子や支援について直接または連絡帳で保護者に伝える。 ・クラスの主な学習テーマや行事などがわかる日程表を配布する。毎回のクラスの活動予定表でも学習や活動内容を確認できるよう周知する。
3	非常時等の対応の周知が不十分である。	・非常時マニュアルの策定や避難訓練については契約時に説明しているが周知が不十分である。 ・現在避難訓練は職員や利用時にクラスで行っているが日程によって訓練が該当しないクラスもある。	・非常時の各マニュアルを保護者が直接内容を確認できるようにする（口頭の説明だけではなくお見せする等）マニュアル設置場所の周知に努める。 ・避難訓練は各クラスで行えるようにクラスの様子に合わせて内容を考え段階的に取り組む。避難訓練時の様子を保護者に伝える。